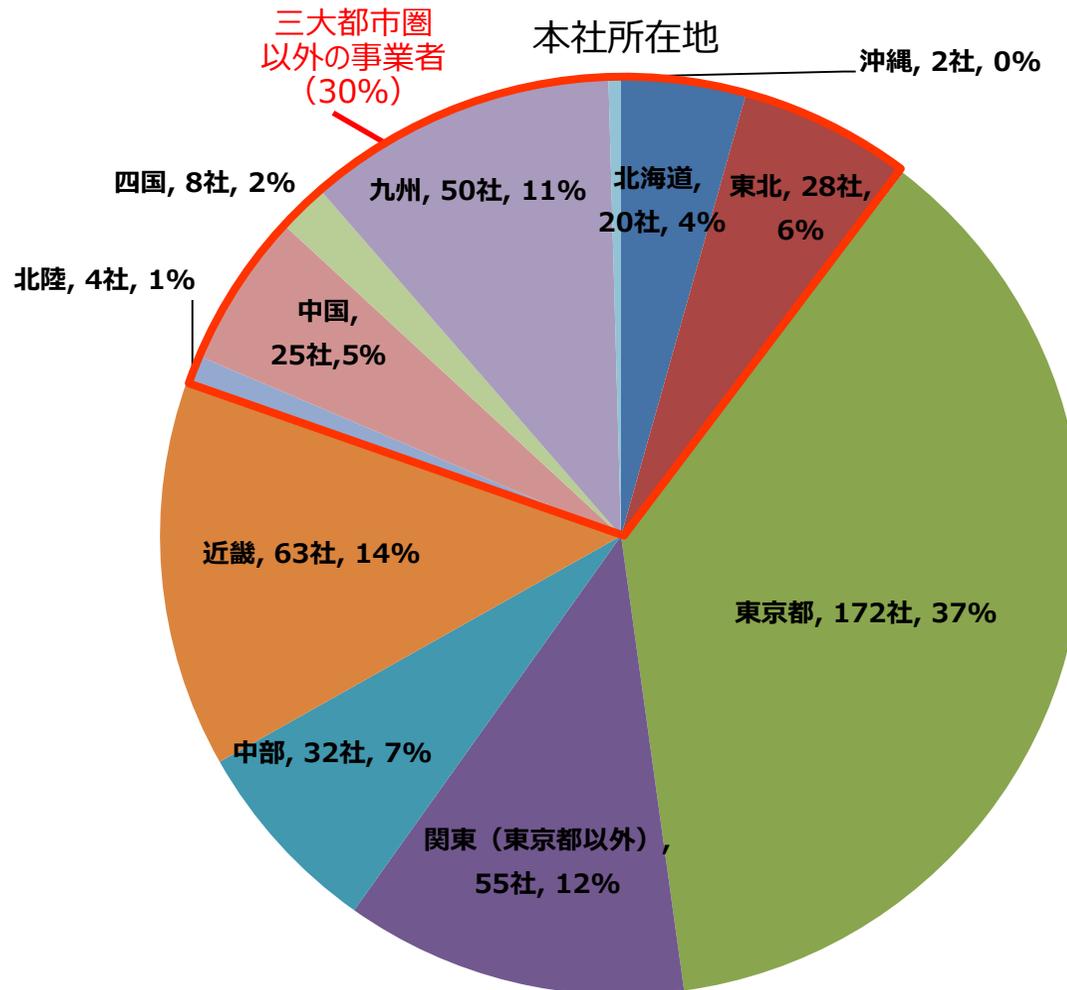


登録小売電気事業者459社※の本社所在地

※みなし小売電気事業者10社を除く

- 本社所在地は約4割が東京だが、三大都市圏以外に本社を置く事業者も約3割存在。

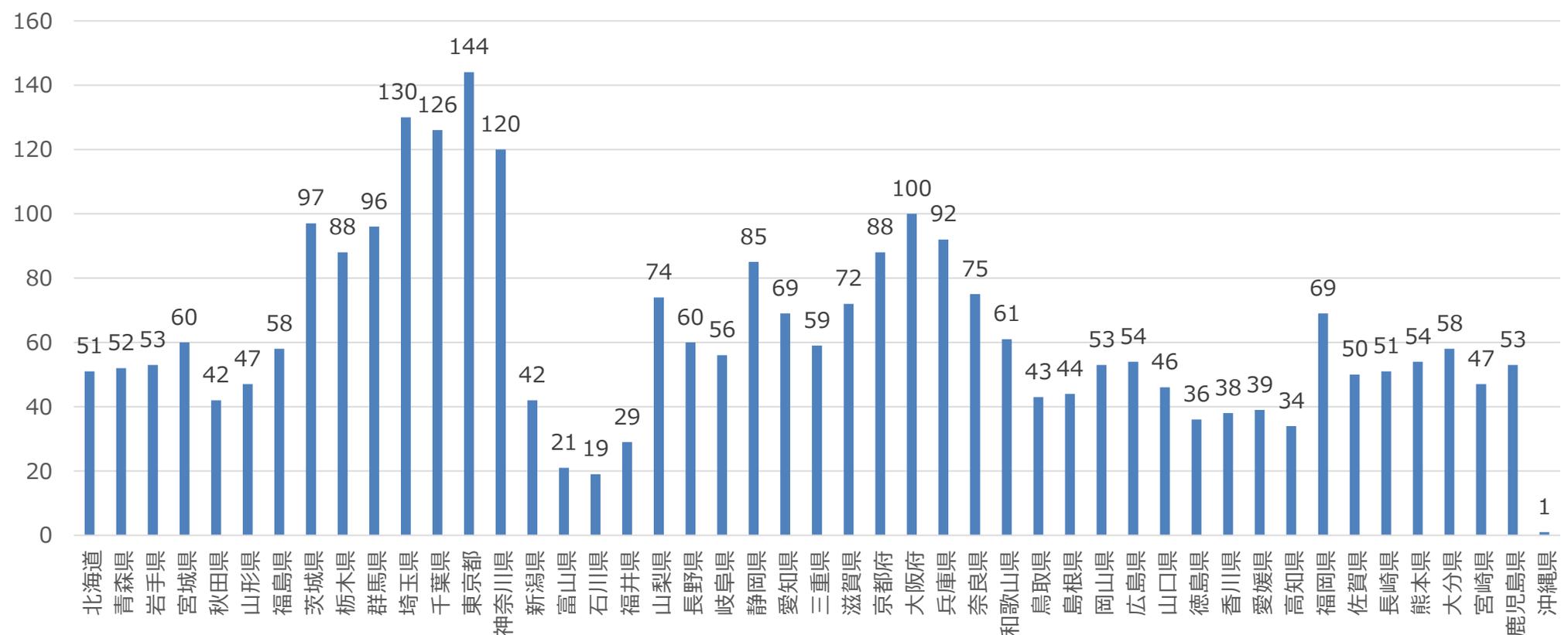


※小売電気事業者469社中（みなし小売電気事業者10社を除く）、2018年4月23日現在

都道府県別小売電気事業者数（低圧）

- 地域別には、東京・中部・関西・九州など、都市圏において多くの小売電気事業者が新規参入している。
- 北陸（富山県・石川県）・四国（高知県・徳島県・香川県・愛媛県）では供給を行っている小売電気事業者の数は相対的に少ないが、一定数は存在する。

供給実績がある小売電気事業者（都道府県別）



出所：資源エネルギー庁「電力調査統計」（2017年12月時点）より作成

電気の低圧分野のスイッチング状況（2018年1月時点）

- 2018年1月時点での新電力への契約先の切替え（スイッチング）実績は約9.1%（約568万件）、みなし小売電気事業者の自社内の契約の切替件数（規制→自由）は約5.7%（約358万件）であり、合わせて約14.8%（約926万件）。
- スwitching率を地域別に見ると、東電PG管内（12.8%）が最も高く、次いで関電管内（12.0%）となっている。一方、中国管内（2.5%）や北陸管内（2.7%）では低調な推移となっている。

※ 広域機関のスイッチングシステムを通じた新電力への切替申込件数（2018年3月末時点）は約710万件（全体の約11.4%）。

スイッチング（みなし→新電力）件数

管内	他社切替実績 【単位：万件】	率 ※ 【単位：%】
北海道	25.45	9.2
東北	21.60	4.0
東京PG	292.8	12.8
中部	51.23	6.7
北陸	3.36	2.7
関西	120.61	12.0
中国	8.65	2.5
四国	7.46	3.8
九州	36.83	5.9
沖縄	0.00	0.0
全国	568.0	9.1

自社内契約切替（みなし規制→みなし自由）件数

	自社内切替実績 【単位：万件】	率 ※ 【単位：%】
北海道	1.8	0.7
東北	6.0	1.1
東京PG	87.0	3.8
中部	121.3	15.9
北陸	2.7	2.2
関西	63.8	6.3
中国	43.5	12.4
四国	11.0	5.7
九州	20.5	3.3
沖縄	0.2	0.2
全国	358.0	5.7

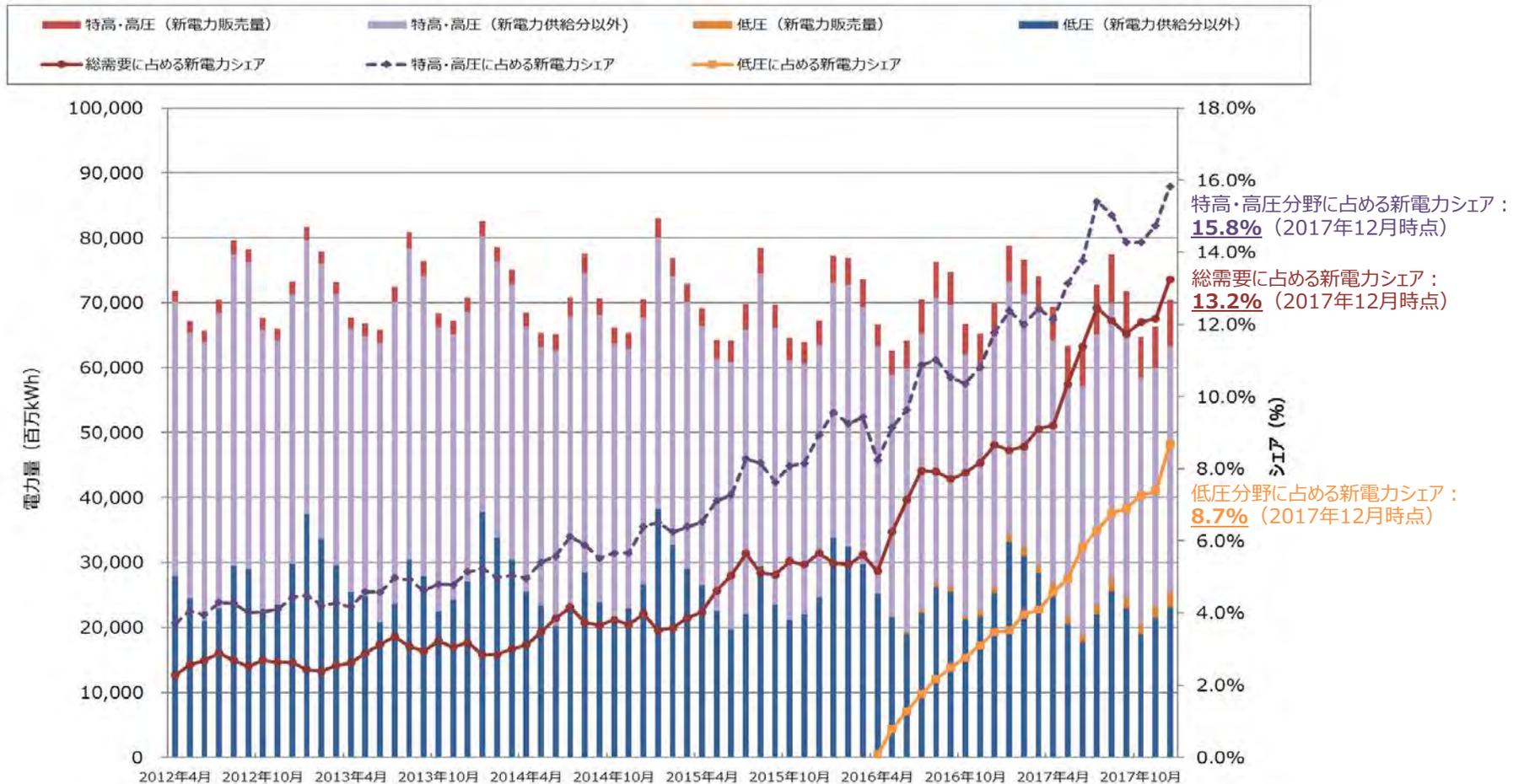
出所：電力・ガス取引監視等委員会 電力取引報（平成30年1月実績）

※ 平成28年3月の一般家庭等の通常の契約口数（約6,253万件）を用いて試算。なお、平成28年3月の低圧の総契約口数は約8,600万件だが、旧選択約款や公衆街路等の契約などは、実態としてスイッチングが起きることが想定されにくく、母数から除外。また、同一需要家による供給事業者の変更や、旧一般電気事業者の規制料金・自由料金メニュー間での契約種変更は、複数回行われた場合、その都度、スイッチングとしてカウントされることに留意。

全国の新電力シェア（販売電力量ベース）

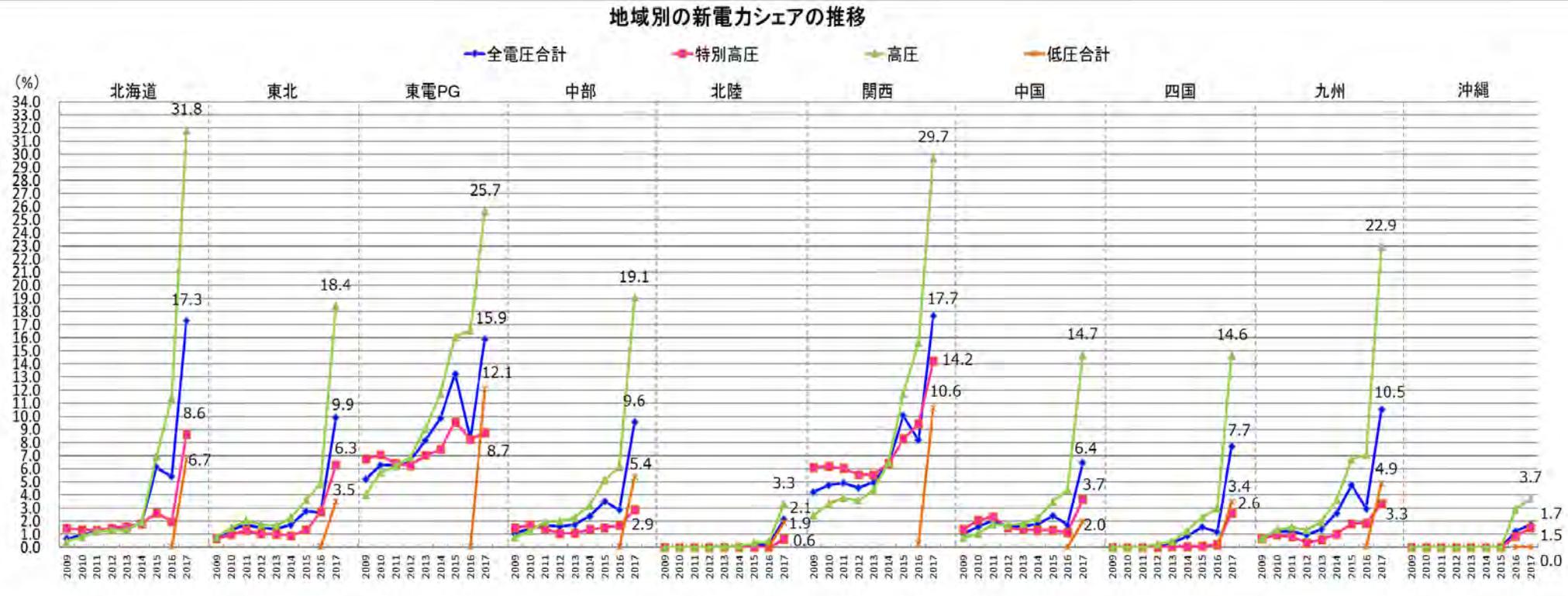
- 販売電力量ベースで見た新電力の市場シェアは徐々にではあるが着実に上昇している。
- 具体的には、2017年12月時点において、総需要に占める新電力シェアは約13.2%、特高・高圧需要に占める新電力シェアは約15.8%、低圧需要に占める新電力シェアは約8.7%となっている。

新電力の市場シェア（2012年4月～2017年12月）



地域別の新電力シェア（販売電力量ベース・年度別）

- 地域別の新電力の販売電力量シェアは、概ね増加傾向にある。新電力の販売電力シェアが高い地域として、関西、北海道、東京が挙げられる。



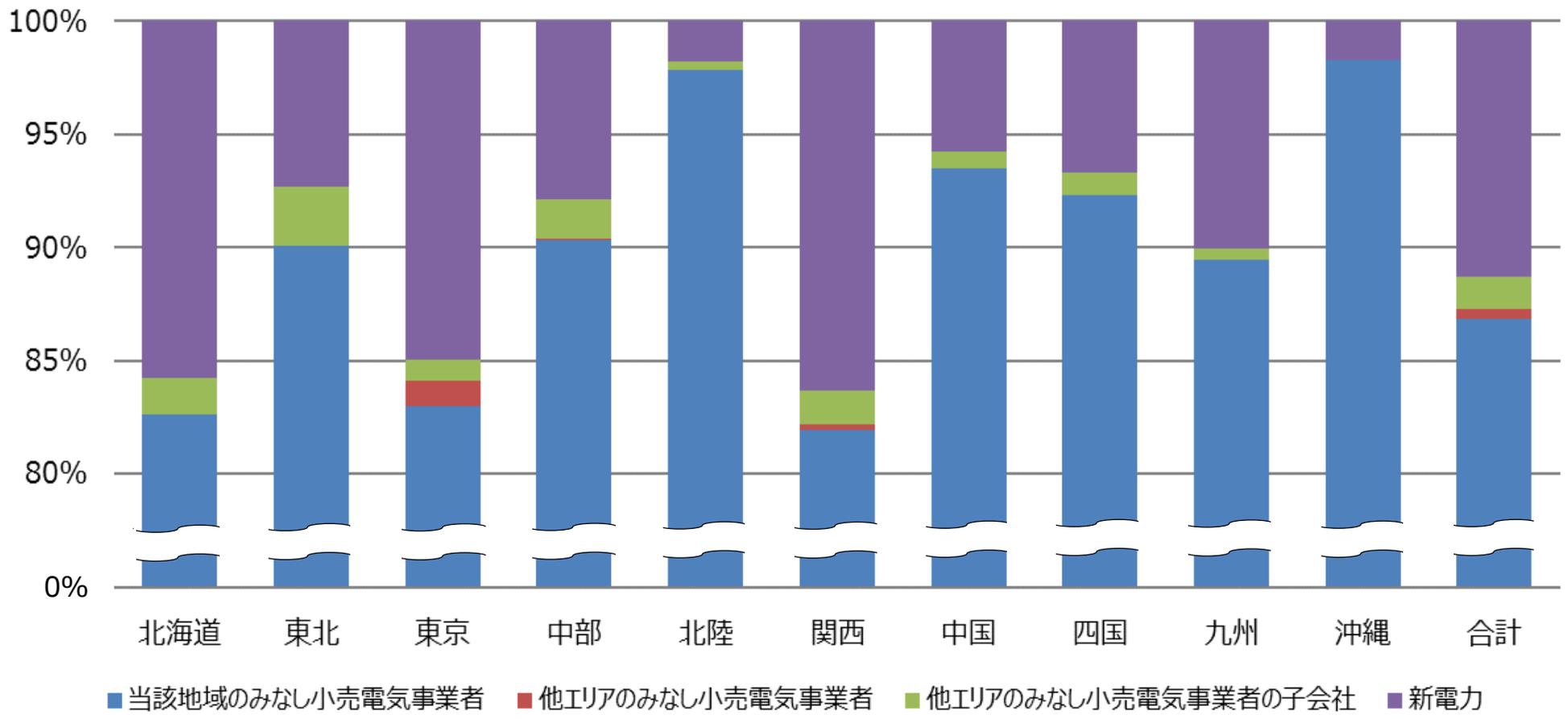
出所：電力需要調査、電力取引報

※2017年度の値は、2017年12月時点の値。

地域別の市場シェア（販売電力量ベース）

● みなし小売電気事業者及びその子会社による旧供給区域外への進出は進んでおらず、旧供給区域外への供給は全体の約1.8%。地域別では沖縄を除く全ての地域で域外供給が行われており、具体的には、北海道(約1.6%)、東北(約2.6%)、東京(約2.1%)、中部(約1.8%)、北陸(約0.3%)、関西(約1.7%)、中国(約0.7%)、四国(約1.0%)、九州(約0.5%)となっている。

地域別の市場シェア（2017年12月）



出所：電力取引報